

JLEM News Letter Vol.46



第51回日本語教育方法研究会開催

発表 40 件 参加者 140 名

第52回は杏林大学井の頭キャンパスにて

2018年9月8日(土)、第51回日本語教育方法研究会が国士館大学(東京都町田市)で開催されました。栗原先生、学生の皆さん、大変お世話になりました。

前日9月7日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第52回研究会は2019年3月23日に杏林大学井の頭キャンパス(東京都三鷹市)において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

栗原 通世
(国士館大学)

第51回目の研究会を運営委員の皆様をはじめとする多くの方々のご協力のもと、無事に終えることができ安堵しています。例年よりも早めの日程であること、会場までのアクセスがやや、悪いことに加え、週の始めに襲来した台風21号と研究会2日前に発生した北海道胆振東部地震の影響で、参加者が多くなく盛り上がり欠けるのではないかと心配しておりましたが杞憂に終わりました。

午前・午後合わせて40の発表は申

し合わせていたかのように会場スペースにぴったりの件数でした。全員が一つのフロアに集まり、意見交換を十分に行う余裕があったという声をお聞きし、うれしく思いました。当日は本学の学生も補助作業にあたりましたが、活発な意見交換が行われている様子に刺激を受けたようです。皆様の教育・研究の進展を会場提供という形でお手伝いする機会にあずかれたことに加え、学生の学びの場を与えていただいたことに感謝しています。昼食交流会を褒めていただいたのもうれしいことでした。

研究会が盛会のうちに終えられたことに改めて感謝申し上げるとともに、今後も実りの多い研究会が続いていくことをお祈り申し上げます。

次回開催にあたって

嵐 洋子
(杏林大学井の頭キャンパス)

次回の研究会は、杏林大学井の頭キャンパスで開催します。井の頭キャンパスは、2016年4月に誕生した新しいキャンパスです。八王子キャンパスから、留学生が最も多く在籍

する外国語学部をはじめ、総合政策学部、保健学部が移転し、三鷹キャンパスの医学部、保健学部とあわせ全学部が三鷹に集結しました。外国語学部では日本語教員の養成も行っており、国内外に多くの教員を輩出してきました。現在は、副専攻として英語学科、中国語学科、観光交流文化学科全ての学科の学生が学ぶことができます。また、日本語教育を学ぶ学生が、海外からの研修医の日本語教育をサポートするなど、キャンパス移転を生かして、より特色のある日本語教育の学びができることを目指しています。

井の頭キャンパスへお越しになる際は、行きは電車が多く止まる三鷹駅から、帰りは飲食店も多い吉祥寺駅に出るのがお勧めです。井の頭キャンパスと杏林大学病院もある三鷹キャンパスは徒歩15分程度ありますので、バスに乗る際はくれぐれも間違えないようにお気を付けください。研究発表や、昼食交流会で多くの皆さまと交流できることを楽しみにしております。

第12回JLEM優秀賞

第51回研究会において、以下の発表が「優秀賞」に選ばれました。なお、今回は奨励賞、ポスター賞の受賞はありませんでした。審査は、

運営委員から選出された優秀賞選考委員5名の討議により行われました。

「優秀賞」平山允子（日本学生支援機構）「頻度順・語彙先習での中級漢字語彙学習」

「優秀賞」の平山氏の研究は、氏の現場におけるこれまでの漢字語彙教育の試行錯誤に、新たに語彙先習、対義語や類義語の同時学習に関する理論的背景を加え、さらに使用している漢字教材の漢字語を頻度順に並べ替えた独自の教材を作成して実践するという、まさに理論と実践が結びついた実践報告です。その実践のプロセスと結果についてもポスター等で明確にわかりやすく示しており、説得力がありました。これらの点が高く評価されました。

受賞者のポスターは、本会のHPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(小河原義朗)

運営委員会・総会報告

研究会当日の9月8日(土)午後には2018年度日本語教育方法研究会総会が開催されました。無事、総会として成立し、全ての議案について承認されたことをご報告いたします。

また、研究会に先だって運営委員会が9月7日(金)に開かれました。今回12名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。以下、総会での報告事項、承認事項について報告致します。

①会員数

2018年9月7日現在の会員数は595名になりました。

②2017年度の決算について

会計担当委員から2017年度の決算案の説明が行われ、承認されました。

④2018年度の予算について

2018年度の予算案の説明が会計担当委員より行われ、承認されました。

⑤運営委員の交代について

以下の委員の退任、就任、担当変更が承認されました。

退任：衣川隆生さん（名古屋大学）（会長）、小河原義朗さん（東北大学）（事務局）、中井陽子さん（東京外国語大学）（編集担当）

就任：工藤嘉名子さん（東京外国語大学）（編集担当）、栗原通世さん（国士舘大学）（編集担当）、島崎薫さん（東北大学）（会計担当）

変更：伊藤夏実さん（東京農工大学）（編集担当から会計担当へ）

⑥参加者によるポスターの撮影について

「JLEM賞などのために運営委員が撮影する場合を除き、原則撮影不可。ただし、発表者の承諾が得られたときのみ撮影可」「口頭発表は撮影不可」となりました。ご協力をお願いいたします。

(河野俊之)

事務局よりご連絡

●発表申し込み、会誌原稿提出の締め切り厳守のお願い

発表申し込みが近年50件を超えることも多く、会誌編集に従来よりも時間がかかるようになっていきます。

そのため、締め切りを過ぎた発表申し込み、会誌原稿は受け付けませんので、ご協力をお願いいたします。

●研究会参加者によるポスター撮影について

先日の総会で承認されたように、JLEM賞などのために運営委員が撮影する場合を除き、研究会参加者によるポスター撮影については原則禁止とします。ただし、発表者の承諾が得られたときのみ撮影可能です。なお、口頭発表におけるスライドの撮影は撮影不可とします。

●会員管理システム登録情報の確認

2015年10月にweb上での会員管理システム

<<https://secure.jlem-sg.org/>>が導入され、今まで郵送しておりましたニュースレター、発表申込案内、研究会プログラムなどの印刷物の発送は停止しております。皆様のお手元に届くのは会誌のみとなり、その他のお知らせ等は、<jlem-m1@jlem-sg.org>からみなさまの登録e-mailアドレスへ届けます。<jlem-m1@jlem-sg.org>が迷惑メールとならないよう、ご指定をお願いいたします。e-mailアドレスを変更する場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いいたします。

●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更が行われない、あるいは宛名不明のため、会誌が返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いいたします。

(中川健司)

J-STAGE について

J-STAGE で刊行後、1年未満の研究会誌をダウンロードしようとする、購読者番号、パスワードの入力が求められますが、JLEMではそれらの情報を会員の皆様に配布していません。JLEMは、刊行から1年未満の会誌をJ-STAGEで公開していませんので、ご了承ください。また、発表に応募する際は、以下の3点について、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ JLEM での発表応募は、「J-STAGE での公開の承認」が前提になること
- ・ 編集担当委員が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと
- ・ 研究会当日に発表を行わなかった場合、J-STAGE の公開資料から削除すること

(寺嶋弘道)

ご連絡先をお知らせください

下記の方々は当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいませんので、JLEM日本語教育方法研究会 (<https://secure.jlem-sg.org/>) の「入会申し込み」より、申し込み手続きをして下さい。

なお、下記の方々の中に、お知り合いの方がいらっしゃる方は、恐れ入りますが、お伝えいただけますよう、よろしく申し上げます。

鈴木聡子 藤田恭子 王夢蕾 梁穎
穎 福良直子 浅井尚子 林雅子

(敬称略, 10月27日現在)

●会費納入について

会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

2015/09/19 日付け 3000 円
振込み「大野 裕」

2017/06/28 日付け 3000 円
振込み「オオタカ ヨウ」

2017/09/16 日付け 3000 円
振込み「王 夢蕾」

2018/03/22 日付け 3000 円
振込み「東野 美里」

(敬称略, 10月27日現在)

(長谷川守寿)

日本語教育方法研究会

問い合わせ先: jlem-ml@jlem-sg.org

(レター編集: 本郷智子)